

ハウス内のベーパー（蒸気）ドリフト

ハウス内で農薬散布する時にノズルをドリフト低減ノズルに換えるだけでは万全とはいえません。農薬の種類によっては、成分の蒸気圧が高いため地面や植物への沈着後に再度揮散し（ベーパードリフト）、ハウス内全体に飛散して予期せぬ残留事故をおこす危険性があります。普及センターでは生産者の協力によってホノガードで残留事故を防ぐ方法を実証試験しています。

蒸気圧0.06mPa以上の農薬をハウス内に部分処理すると、ハウス内全体へベーパー（蒸気）ドリフトすることによって一律基準を超える可能性がある。

カズサホスマイクロカプセル、トルクロホスメチル水和剤、プロシミドン水和剤、ダイアジノン乳剤、MEP乳剤、ブプロフェジンフロアブル、イソキサチオン乳剤、ホスチアゼート液剤、PAP乳剤、ミクロブタニル水和剤、ピリダベンフロアブル、クロルフェナピルフロアブル等（高知県農業技術センター、農業環境技術研究所「施設栽培における農薬ベーパードリフトの薬剤間の比較」）